

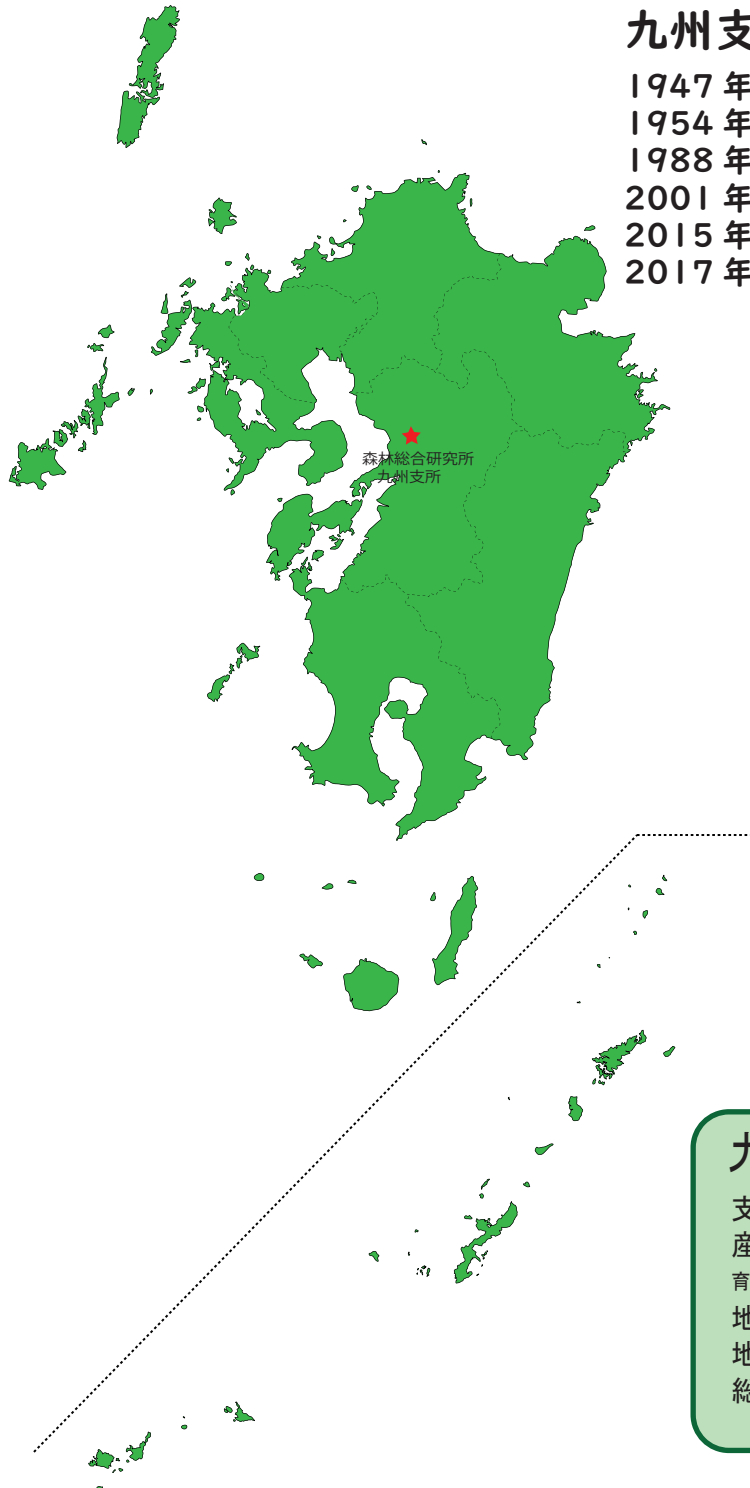
九州・沖縄地域の森林の持続的活用と 生物多様性保全を目指して

九州・沖縄は、暖温帯域と亜熱帯域にまたがった気候条件の下で様々な樹木や生物が分布しています。特に、南西諸島では貴重な野生生物が多く生息しています。

一方、九州には膨大な人工林資源がありますが、豪雨や火山による自然災害が発生しやすい地域でもあります。このような地域特性や背景のもと、当支所では林業の発展や森林の持続的管理を目指した研究を行っています。

九州支所の沿革

- 1947年（昭22）農林省林野局林業試験場熊本支場設立
- 1954年（昭29）熊本市黒髪に移転
- 1988年（昭63）森林総合研究所九州支所に改称
- 2001年（平13）独立行政法人森林総合研究所九州支所
- 2015年（平27）国立研究開発法人森林総合研究所九州支所
- 2017年（平29）国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所九州支所



熊本県金峰山自然公園に指定されている立田山の南斜面に位置しています。

九州支所の組織

支所長
産学官民連携推進調整監
育種調整監（九州育種場長併任）
地域研究監
地域連携推進室
総務課

チーム長
森林生態系研究グループ
山地防災研究グループ
森林微生物管理研究グループ
森林動物研究グループ
森林資源管理研究グループ



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 九州支所